

## 正誤表（達成状況評価）

45：名古屋大学

No.	頁数	誤	正	修正事由
01	p. 3	・卓越大学プログラム3プログラムの選定	・卓越大学 <b>院</b> プログラム3プログラムの選定	脱字があったため
02	p. 17	別添資料 1-1-1-1-8「数理データ科学教育の教育ポリシー／スキル」	別添資料 1-1-1-1- <b>8</b> 数理データ科学教育の教育ポリシー／ <b>スキ</b> ル	別添資料名「」が不要であったため
03	p. 30	・2019年度より…、支援企業5社からの寄付金を中心に運営した。	・2019年度より…、支援企業5社からの寄 <b>附</b> 金を中心に運営した。	誤字があったため
04	p. 39	■生命農学研究科：…集まり，各人の…。	■生命農学研究科：…集まり， <u>各</u> 人の…。	誤字があったため
05	p. 49	・多元数理科学研究科では，…ともに，…支援している。 さらに，同研究科では，…。	・多元数理科学研究科では， <u>各</u> …ともに， <u>各</u> …支援している。 さらに， <u>同</u> 研究科では， <u>各</u> …。	誤字があったため
06	p. 49	・情報学研究科では，…を実施している（2017年度以降，年に最大30名，一人あたり…。	・情報学研究科では， <u>各</u> …を実施している（2017年度以降， <u>各</u> 年に最大30名， <u>各</u> 一人あたり…。	誤字があったため
07	p. 53	（1）中項目1－4「入学選抜に関する目標」の達成状況の分析	（1）中項目1－4「入学 <b>者</b> 選抜に関する目標」の達成状況の分析	脱字があったため
08	p. 56	・推薦入試における推薦書について、…改善する	・推薦入試における推薦書について、…改善する。 <u>各</u>	脱字があったため
09	p. 61	・米国 NSF の…、2016年に Itbm において…。	・米国 NSF の…、2016年に <b>I</b> Tbm において…。	誤字があったため

## 正誤表（達成状況評価）

10	p. 61	・「中央研究所」・「化学研究所」…、その一人目として 2019 年に ItbM…。	・「中央研究所」・「化学研究所」…、その一人目として 2019 年に I <b>T</b> bM …。	誤字があったため
11	p. 61	・ ItbM と関連する分野で…。	・ I <b>T</b> bM と関連する分野で…。	誤字があったため
12	p. 61	・ 分野融合研究が…、ItbM を核とする…。	・ 分野融合研究が…、I <b>T</b> bM を核とする…。	誤字があったため
13	p. 70	・ 岡本佳男特別教授…寄付された寄附金を基に、…。	・ 岡本佳男特別教授… <b>寄附</b> された寄附金を基に、…。	誤字があったため
14	p. 99	・ 第 3 期中期計画期間中（2016～2019 年度）において、全学生に占める留学生の割合は 9.4%から 12.1%へと増加した。	・ 第 3 期中期計画期間中（2016～2019 年度）において、全学生に占める留学生の割合は、 <u>2016 年度 15.9%、2017 年度 17.9%、2018 年度 18.4%、2019 年度 18.4%</u> へと増加した。	確認事項の提出の際に別添資料を提出したため （左欄 12.1%と記載したものは 5 月 1 日現在の数値、右欄 15.9%、17.9%、18.4%と記載したものは通年（4 月 1 日～翌年 3 月 31 日まで）の数値であり、集計する時点が異なっていたことによる齟齬が生じたため）
15	p. 100	・ 第 3 期中期計画期間中（2016～2019 年度）において、各年で実施した派遣プログラム数は 83 で一定数であり、参加者の延べ人数は 543 名から 539 と微減となっている。	・ 第 3 期中期計画期間中（2016～2019 年度）において、各年 <b>度</b> で実施した派遣プログラム数は 83 で一定数であり、参加者の延べ人数は <u>2016 年度 543 名、2017 年度 602 名、2018 年度 620 名、2019 年度 539 名</u> となっている。	・ 脱字があったためため ・ 確認事項の提出の際に別添資料を提出したため （4 年間を経年で記載しなかったことにより、記載内容と実態に齟齬が生じたため）
16	p. 101	・ 2018 年度より…国家中枢人材を学生として受け入れた。	・ 2018 年度より…国家中枢人材を学生として受け入れた。 <u>。</u>	句点が重複していたため
17	p. 102	(B) 現代社会が…人材育成の推進【・社会科学系を…】	(B) 現代社会が…人材育成の推進【 <u>人文</u> ・社会科学系を…】	脱字があったため

## 正誤表（達成状況評価）

18	p. 105	(2) 中項目 4-2 「学術の基礎に関する目標」の達成状況の分析	(2) 中項目 4-2 「学術の基盤に関する目標」の達成状況の分析	誤字があったため
----	--------	-----------------------------------	-----------------------------------	----------